

秋の叙勲

受章おめでとうございます

旭日小綬章

西村芳雄氏（豊田前町）



11月3日付で秋の叙勲の受章者が発表され、旭日小綬章を西村芳雄氏が受章されました。西村氏は、昭和50年地域住民から推されて美祿市議会議員に当選し、以来7期28年間の永きにわたり市政に参画されました。特に平成元年5月から平成2年12月まで副議長として、議会の円滑な運営に尽力されました。また、美祿市議会において議会運営委員会委員長、総務企業委員長、教育福祉委員長、建設経済委員長などを歴任し、卓越した見識と豊富な経験により、教育・福祉施設の充実、産業の振興、住民福祉の向上に熱意を持ってあたり、地方自治の伸展と確立に多大な貢献をされました。

瑞宝双光章

勝原響一氏（東厚保町）



11月3日付で秋の叙勲の受章者が発表され瑞宝双光章を勝原響一氏が受章されました。勝原氏は、昭和26年10月から平成5年3月までの41年2月の永きにわたり、警察官として業務に従事されました。この間、

交通機動隊に勤務するなど主に交通部門に従事され、悲惨な交通事故現場に赴くたび、交通事故防止への想いを強く持ち、優れた技能、知識を駆使し、交通事故の無い社会の実現に向けて尽力されました。

また、平成元年には他の警察職員の模範として、全国優良警察職員表彰を受けています。

瑞宝単光章

竹内健一氏（伊佐町）



11月3日付で秋の叙勲の受章者が発表され、瑞宝単光章を竹内健一氏が受章されました。竹内氏は、昭和26年1月1日に美祿郡大嶺町消防団に入団して以来、平成10年3月31日までの47年3月の永きにわたり、その間、勤務多忙にもかかわらず、消防活動に積極的に従事し、不断の熱意と努力を持って消防業務に精励し、教育訓練、水利などの警防調査など率先して出動されました。平成4年からは分団長として、自ら範となり習熟した消防技術により団員の育成に努め、消防の円滑な運営を行い、地域の防災に多大な貢献をされました。

瑞宝単光章

原田かず子氏（秋芳町）



11月3日付で秋の叙勲の受章者が発表され、瑞宝単光章を原田かず子氏が受章されました。原田氏は、昭和48年12月から児童養護施設「依山湯の家」に勤務され、豊かな感性に加え、常に公正な判断力と深い洞察力をもって、一人ひとりの児童を大切にしながらきめ細やかな養護に積極的に取り組まれています。

また、平成18年4月からは主任保育士として、過去の経験に基づき自らの実践を通して後進の指導にあたり、職員一人ひとりの年齢や経験に応じた的確なアドバイス、指導、助言などその姿は他の保育士の模範であり、常に施設内のリーダーとして、職員の資質向上に努められています。

病院だより ①

現在、美祿市は美祿市立病院と美祿市立美東病院という2つの公立病院を運営して、市民の健康と生命を守っています。

これから毎号、美祿市立病院と美祿市立美東病院の紹介や健康に関する情報提供をしていきます。第1回目は美祿市立病院長の紹介と先生の専門である泌尿器関係の健康チェックについてお知らせします。

美祿市立病院長

(前山口大学医学部

泌尿器科教授)

内藤 克輔



美祿市立病院長の内藤克輔です。私はこれまで山口大学で、膀胱がん、腎臓がん、前立腺がんなどの泌尿器科領域の悪性腫瘍の治療成績を高めるための治療法の改善、また、癌発生に先立つ遺伝子などの変化を研究してきました。

美祿市立病院では、全ての癌を早期に見出し、治療効果を高めることによって、患者さんが治療後の生活の快適さを



を保てるよう病院全体で努力をしています。当然、癌以外の病気でも生活の快適さを求めた治療をおこなっています。患者さんの目線と同じ立場に立った、高度な医療と看護を提供するためスタッフ一人一人が努力しています。患者さんをはじめ市民の皆さんと連携を深め、市民の皆さんの信頼にお応えするよう努力してまいります。

健康チェック

男性でも女性でも尿がちかい・もれる・出にくい・などの経験はありませんか？

①尿がちかい、もれる、出にくいなどの排尿・蓄尿に伴う種々の症状を下部尿路症状と言います(下部尿路とは、膀胱、尿道をさします。排尿とは尿を膀胱から排出する行為であり、蓄尿とは膀胱に尿を溜めることを指します)。

この下部尿路症状は、大別して蓄尿症状、排尿症状および排尿後症状に分けられますが、種々の原因により症状が発生します。

②蓄尿症状(膀胱に尿を溜めている時に認められる症状)の例として、昼間の頻尿(尿が近い)、夜間頻尿(床に就いてから3回・4回と排尿に起きる)、尿意切迫感(尿意を我慢出来ない)、尿失禁(種々の原因によって、排尿しようとしてないのに尿が漏れる)などがあります。

③排尿症状の例として、尿勢低下(尿線が細く、勢いがない)、尿線分裂または尿線散乱(尿が飛び散る)、

尿線途絶(排尿中に尿線が途絶する)、排尿遅延(尿意を感じて排尿を試みても、すぐに排尿出来ない)、腹圧排尿(下腹部に力を加えないと排尿出来ない)、排尿終末時尿滴下(排尿終了後に暫くポトポトと尿が流れ出る、尿の切れが悪いとも表現されます)などがあります。

④排尿後症状としては、排尿後にも尿が残った感じがする(残尿感)、または二段排尿(排尿が終わった直後に、再び尿意を感じて排尿する)などが挙げられます。

⑤男性では、排尿がスムーズに出来なくなると、通常は前立腺肥大症の初期と考え、放置される人も少なくありません。しかし、重大な疾患、前立腺癌の場合にも、種々の程度の排尿困難が認められることもあります。

⑥また、女性では、尿が漏れる(尿失禁)と訴える人が加齢と共に多くなりますが、これらの症状は老化などに

伴った骨盤底筋群の脆弱化により、膀胱が下垂することにより生じることが多いのですが、その他の種々の原因が重なりあつて発生する場合もあり、十分な検査が必要になります。

少量の尿漏れなど重大な事ではないと思われ、放置されがちですが、病状の進行に伴って症状も高度になります。その結果、種々の会合や旅行にも参加できず、家に引きこもる原因の一つにもなります。

以上のような症状などが認められた場合には、恥ずかしがらないで、病院を受診して下さい。



問合せ先 美祿市立病院
(☎ 0837 21700)